

テレビ会議 運用支援ソフトウェア

MCUオペレータ[®] NEXT

多地点テレビ会議の「予約」「変更」「接続」を
グループウェア感覚の簡単操作で



次世代版 MCU オペレータ®「NEXT」が テレビ会議を身近なビジネスツールに変える

従来のテレビ会議用 MCU (多地点接続装置) は、操作が難しく、会議の予約設定や変更には IT 管理者の手を必要としていました。そんな不便さを解消し、“もっと使いやすくないか”というユーザーの声を受け、メディアプラスが開発したのが、このテレビ会議運用支援ソフトウェア「MCU オペレータ® NEXT」です。ユーザーと IT 管理者の利便性を大きく向上させ、経営面でも数多くのメリットをもたらします。

ユーザーも IT 管理者も経営層も、誰もがテレビ会議をカンタン活用！

エンドユーザー
グループウェア感覚の簡単操作で、ユーザーが自らテレビ会議の「予約」「変更」「接続」ができる

- 専用リモコンは不要。Web 画面上でユーザー自ら会議の作成・変更、招集・開始が行えます。
- 予約済みのテレビ会議のスケジュール変更はドラッグ&ドロップ操作で完了。
- 週次・月次の定例会議の予約の中の、特定の日だけ別の日時や場所へ変更可能。高校・大学などの遠隔授業で、急な教室の変更や休講の際、柔軟に対応できます。

新規会議予約

予約可能数 TV会議端末: 10

会議名称:

会議開催日: 2012 年 1 月 4 日

会議開始時間: 17 時 30 分

会議開催時間: 1 時間 0 分

開催日や開催日時はプルダウンで選択。繰り返し予約の設定も可能。パスワードを設定し、限られた人へのみ、予定の変更を許可することもできます。

グループウェア感覚のスケジュール管理操作

スケジュール管理は、ドラッグ&ドロップで簡単に編集可能。直感的な操作でユーザートレーニングの必要はありません。

IT 管理者
テレビ会議の予約や変更など要請から IT 管理者を解放。既存のテレビ会議システムを変更せずに導入できる

- 日本で予約された会議も、アメリカなどの現地時間で設定・表示(日本語・英語に対応)。
- 情報システム担当でも難しかったポート使用率などのリソース管理が不要に。
- 実施したい会議の条件を入力すれば、開催可能な日時を自動検索(空きポート検索機能)。ポート使用率を考慮して予約を確定するため、当日会議が開けないという事態は起きません。
- 一般的なサーバに「MCU オペレータ® NEXT」をインストールするだけの簡単導入。

空きポート検索画面

MCU ポートが空いている日、確実にテレビ会議が開催できる日時をピンポイントで検索できます。

会議に必要なポート数: 10 | 会議開催時間: 1 時間 0 分

検索条件を指定

この日時に予約する

すぐに予約

インフラ機器管理

MCU やその他インフラ機器の状態を監視。ログを表示するので、インフラ管理が容易になります。

ステータス	MCU 名称	MCU 監視
<input type="checkbox"/>	MCU1	ON OFF
<input checked="" type="checkbox"/>	MCU2	ON OFF

経営層
テレビ会議システムの効率的な運用の実現で ROI 向上。コスト削減や CO₂ 削減効果がひと目で把握できる

- テレビ会議同士の 1対1 の会議はダイレクトに接続*、不要な MCU ポートを使用しないことで、高額な MCU の無駄をなくします。
※一部のテレビ会議端末に限る
- 「そのテレビ会議」によって、どれだけのコストや CO₂ を削減できるかひと目でわかります。(CO₂ 排出量・交通費・人件費削減効果を表示)
- 自社で同程度のシステムを構築した場合の約 4分の1 という低価格。
- ユーザーインターフェースの改善で眠っていたテレビ会議システムのフル活用が可能に。

CO₂・コスト削減画面

事前に拠点の位置情報を登録すれば、そのテレビ会議によって、CO₂・移動時間・運賃・人件費が削減できるかを分かりやすく表示します。また、毎月・年毎の集計を表示するので、社内目標達成度などが一目で確認できます。

会議毎の削減効果表示

月毎の集計表示

Sler (システム設計者)
企業それぞれのテレビ会議のニーズに合わせた、高度で多様なシステム構成が可能

「MCU オペレータ® NEXT」は、テレビ会議の開催頻度や利用目的、重要度などに応じて、以下のような多様なシステム構成を組むことができます。

カスケードモード

数多くの拠点を結んだテレビ会議を開催する企業向け。2台の MCU を並列に接続し、ポートを最後まで使い切る機能です。

リダンダンシーモード

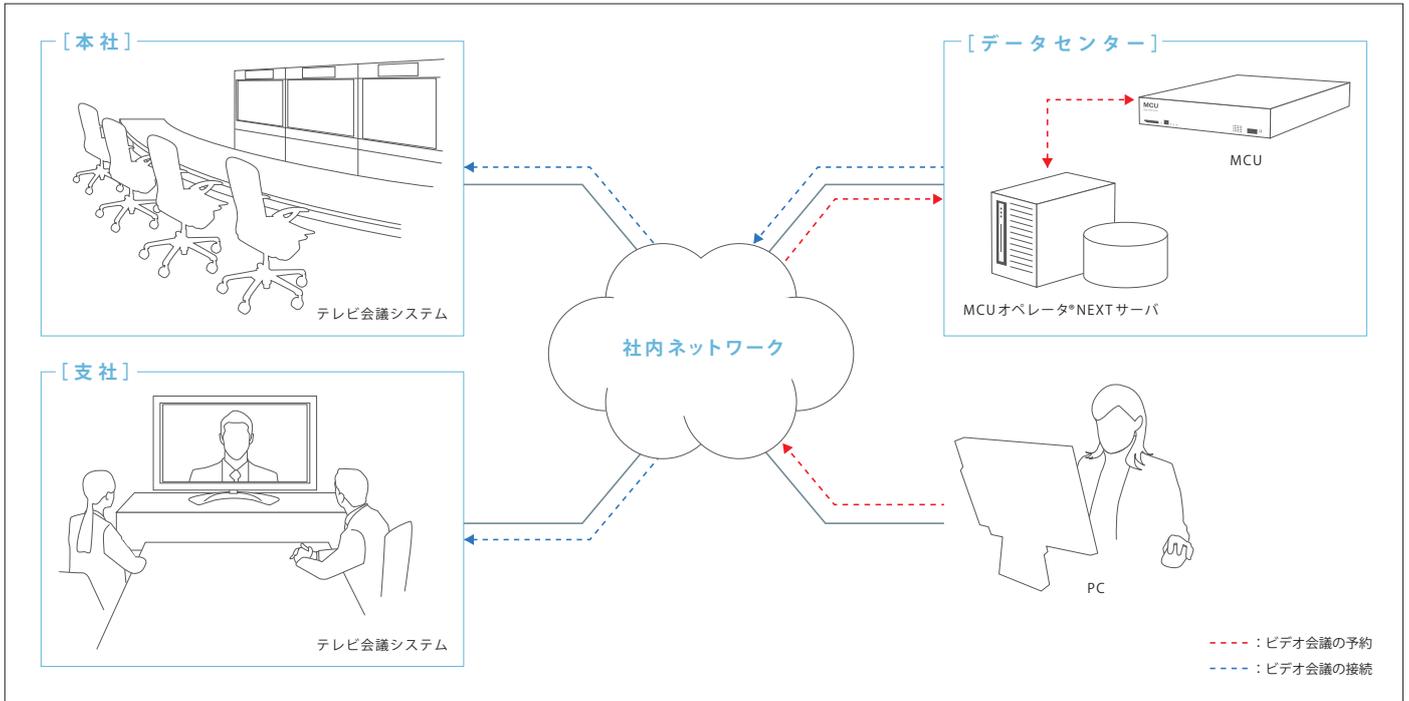
アクティブ機とホットスタンバイ機の構成。アクティブに障害が発生した場合、スタンバイ機が会議を実施。

デュアルモード (もったいないモード)

通常、サブはメインとは別のテレビ会議を実施。メインに異常が発生すると、サブは会議を中止し、メインの会議を引き継ぎ、継続開催します。ホットスタンバイ中の MCU も、“もったいない”ので活用する機能です。



ネットワーク構成図



スペック表

サーバ側OS	RedHat Linux Enterprise
サーバ側対応プロセッサ	Core2Duo 2GHz以上
サーバ側必要メモリ容量	1GB以上
サーバ側必要ディスク容量	500MB以上
クライアント側動作環境	対応ブラウザ: Internet Explorer 6 以上、Firefox 5 以上、Safari 4 以上
その他	テレビ会議 MCU (多地点接続装置) 専用ソフトウェア

使用できるMCUのメーカーには制限があります。MCUが対応していれば使用するエンドポイントを問いません。

その他機能

■拠点選択

会議に参加する拠点を、ツリー表示やグループごとに表示したり、まとめて選択することも可能です。

■レイアウト選択

会議予約時にレイアウトまで簡単に設定可能

■認証ログイン

企業の認証サーバと連携し、権限を付与できます。

■二カ国語対応

インターフェースを日本語・英語、切り替えで使用可能。

■会議テンプレート機能

良く使う会議の拠点組み合わせをあらかじめテンプレート化しておく機能。

■お知らせ設定機能

メンテナンス情報などをトップ画面に表示します。

■会議録画・視聴機能

録画サーバと組み合わせることにより、会議の録画や視聴予約が可能。

■エラーログ表示機能

管理者が様々なエラーログを取得することが可能。

ユーザの声



「MCU オペレータ*NEXT」を導入する以前は、テレビ会議を開催するたびに、我々情報システム部のヘルプが必要でした。また、導入済みのテレビ会議システムのメーカーやモデルがバラバラで、ユーザの操作も大変だったようです。しかし、「MCU オペレータ*NEXT」の導入により、会議の予約がWebインターフェースから簡単に行えるようになったことで、ユーザのテレビ会議の利用回数が増えました。また、CO₂削減効果が見えることで、社員の環境に対する意識を高めることにも役立っています。

導入企業: 国内製造業 情報システム部

■MCU オペレータ* はメディアプラスの登録商標です。

■記載されている製品の仕様・機能などは予告なく変更される場合があります。

開発・販売:



株式会社メディアプラス

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 3-11-6 清水書院サービス第2ビル7F

TEL: 03-3237-9003 FAX: 03-3237-9005 VC: 03-3237-9006

<http://www.mediaplus.co.jp/>